

*演題分類番号

第1希望：12（漢方）

第2希望：1（医薬品適正使用）

■抄録

○発表者・所属

発表者：

姫野榮志(1)、条美智子(2)、柴原直利(2)

所属：

(1)総合メディカル株式会社・そうごう薬局・行橋南店

(2)富山大学和漢医薬学総合研究所・漢方診断学分野

○演題名

漢方薬煎剤をパック包装にした際の、成分抽出量に与える影響（第2報）

○抄録本文

【目的】

漢方薬の煎剤は本来、生薬を未包装の状態で煎じるものである。しかし、煎出後の滓を処理する利便性からパック包装とし、そのまま煎じてよいと指導する薬局も多い。

我々は前報（本学会第46回学術大会）にて、煎剤をパック包装とする事で成分抽出量が大きく低下する事を明らかにした。しかし調整に手間のかかる煎剤では、服薬アドヒアランス向上のために利便性を高める必要がある。今回はパック包装での利便性はそのままに、煎出時間を延長することで未包装と同等の成分抽出量を確保できないかと考え、これを検討した。

【方法】

生薬自動分包機（紙分包）を用いて充填率5割でパック包装とした生薬と未包装のものを、専用の煎じ機を用いて同一条件（水600mLを加え、弱火力で40分間）で煎じ、煎出液の成分濃度をHPLCで測定した。更にパック包装品は、煎出時間を10分刻みで段階的に延長したのも同様に測定し、未包装（40分煎出）のものと比較した。方剤としては、多くの漢方薬の基本骨格となったとされる「桂枝湯（桂皮4g、芍薬4g、大棗4g、甘草2g、生姜1.5g）」を、封入量の調整のために2倍量として用いた。

【結果】

パック包装品を40分間煎じたものでは、未包装のものと比較して代表的な指標成分抽出量が有意に減少した（芍薬由来 paeoniflorin：66.7%、桂皮由来 cinnamic acid：41.7%、cinnamaldehyde：41.2%、甘草由来 glycyrrhizin：65.2%）。この結果は、第1報の結果をほぼ再現していた。

パック包装品の煎出時間を延長したものに関しては、70分のものにおいて成分抽出量が最も未包装（40分煎出）のものに近い数値を示したが、成分間でバラつきが多く（paeoniflorin：86.0%、cinnamic acid：142.7%、cinnamaldehyde：219.5%、glycyrrhizin：82.5%）、成分構成比が大きく異なるものとなった。

【考察】

結果より、煎剤をパック包装とした際の成分抽出量の減少を、煎出時間の延長で補うことは難しいことが明らかとなった。生薬成分の経時的な溶出挙動は成分ごとに異なる事が過去の論文で示されており、その影響を受けたものだと推察される。

簡便だからと安易な方法を取らず、調整・服薬方法が治療に与える影響を常に検討し続けることは、薬剤師の責任であると考え。煎剤の調整の利便化においては、パック包装以外の適切な方法を今後も模索・検討していく。

【キーワード】

漢方薬、煎剤、成分抽出量、パック包装、煎出時間

---（抄録ここまで）---

995.5文字

※参考：投稿ガイドライン

抄録作成に関しては、以下、日本薬剤師会学術大会一般演題投稿規定に基づき制定した下記投稿ガイドラインに従ってください。

一般演題（会員発表）投稿ガイドライン

1. 発表内容について

(1) 一般演題は、薬剤師の学術的基盤を支える良質なものであることを原則とし、もって国民の健康な生活に寄与する可能性のある内容を含むものとします。

(2) 発表内容には、研究・調査の手法、知見、考え方等において何らかの新規性を包含するよう努めてください。

2. 演題名について

研究テーマや内容が推量されるようなタイトルにしてください。

また、副題は出来るだけ避けることが好ましく、もし付ける場合には簡潔なものとしてください。

副題を含め全体で 60 文字以内とします。

3. 発表者・共同発表者について

発表者、共同発表者 1、共同発表者 2 の順に記載してください。

4. 抄録本文の記載項目について

(1) 項目立ては、原則として【目的】、【方法】、【結果】、【考察】、【キーワード】としてください。

ただし、発表の内容が症例（事例）報告の場合には、【方法】を【症例（事例）の概要】としても結構です。

また、【結果】と【考察】は併せて【結果及び考察】としても結構です。

(2) 略語を使う場合には、まず正式名称とそれに続くカッコ内に略語を書き、次から略語で記載してください。

(3) 抄録本文の文字数は 1000 字以内。図表の挿入は不可とします。

※ 全角文字は 1 文字として、半角文字は 1/2 文字として数えます。

アルファベットの直接入力も半角英数ですので、1/2 文字となります。

※ 〈SUP〉などのタグは文字数には換算しません。

※ 半角カタカナや丸数字、ローマ数字、特殊文字等の機種依存文字は使用できません。

※ 画像及び写真の添付はできません。

※ UMIN 登録画面に記載された注意事項を必ずお読み下さい。

[1] 【目的】

何を明らかにするための発表であるかを明確に記載してください。併せて、必要があれば、今回の発表内容が既知の事実や他の研究とどのような位置関係にあるのか等の背景を簡潔に記載してください。

[2] 【方法】

【目的】に記載した研究・調査の目的を達するために、用いた方法・手法、また客体数や研究時期・期間など、研究・調査結果の妥当性を示すため、また、再現性を確保するために必要な事項を簡潔に記載してください。

当日に情報を収集するなどの手法は認められません。

[3] 【結果】

今回の研究・調査等から得られた結果のみを客観的に評価が可能な内容で記載してください。また、結果を%表示する場合には、その集計に用いた分子並びに分母についても記載してください。

[4] 【考察】

今回の研究・調査等で得られた結果から何が明らかになったのか、それらの結果はどのように解釈できるのか、また、それらからどのような結論が導き出されるのかを記載してください。希望、感想等、抽象的表現を含んだ記載は行わないでください。

[5] 【キーワード】

抄録の内容を含むキーワードを 5 単語以内に入れてください。

5. ストーリーの確認

【目的】、【方法】、【結果】、【考察】の内容が分かりやすく、かつ矛盾なく一つのストーリーを構成するように配

慮してください。なお、発表予告のような書き方はしないでください。